

月刊 書字文化

～日本書字文化協会機関紙 No 26～

平成 27 年 1 月号 毎月 10 日発行

一般社団法人日本書字文化協会

代表理事・会長 大平恵理

〒164-0001 東京都中野区中野 2-13-26 第一岡ビル 3 階

電話 03-6304-8212 FAX 03-6304-8213

E メール info@syobunkyo.org

ホームページ <http://www.syobunkyo.org>

目次

- 書文協の年賀状・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ドラえもんが教えます！小学館人気シリーズに大平本・・・ 3
- 「なかま」第 1 回 白根将大（船橋東高 3 年）・・・ 5
- 「書文協ブランド」で書写書道用具発売 吉見出版・・・ 8
- 初の本格的幼児向け硬筆教材「幼児編上下」刊行・・・ 10
- えんぴつ指導者ライセンス講習会 27 年早春コース・・・ 13
- 東西南北 大澤幸江 大六良子・・・・・・・・・・・・ 14
- まだ間に合います！「学生書き初め展覧会」・・・・・・・・ 16
- コラム
「こころ」（大平恵理） 「きのう 今日 あす」（渡邊啓子・副会長）
「教学半」（池田圭子・教学参与） 「文鎮」（佐藤貴子・指導主任）
* ウェブ版には幼児えんぴつ文字練習帳の申し込み書があります

謹賀新年

書文協からのごあいさつ

継承発展

明けましておめでとうございます

私どもが平成22年早春、東京中野に一般社団法人日本書写能力検定委員会(24年元旦、日本書字文化協会に改称)を設立して、お陰様で五年が経ちました。

書字能力の向上と公共性ある組織運営を大事にし、日本語の継承発展を目標に、続く五年間も努力いたします。

今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

平成27年元旦

一般社団法人日本書字文化協会

代表理事・会長 大平恵理

スタッフ一同

小学館「ドラえもんの学習シリーズ」 『きれいな字が書ける』（大平会長指導）

来年 8 月 21 日発売予定！！

絶大な人気を誇るドラえもんが、書文協会長である大平恵理と一緒に子どもたちにきれいな字の書き方を指導します。「ドラえもんの学習シリーズ」は、人気絶頂の学習マンガシリーズです。わかりやすい書字・書写指導の決定版として期待が高まっています。

のび太をはじめ、しずかちゃんや、スネ夫、ジャイアンらおなじみのメンバーが登場し、子どもたちも書写に夢中になることでしょう。

書字・書写指導を学習マンガにするには大変な工夫が求められます。しかも、指導場面がきわめて少ない硬筆です。そのため、指導役として、書写書道界の第一人者である大平会長に白羽の矢が立ちました。鉛筆の正しい持ち方、正しい姿勢、筆圧から、ひらがなの「とめ・はね・はらい」、漢字の「折れ・曲がり」など字の書き方に精通した大平会長の理論と技能が発揮されることでしょう。

「きれいな字を書く」ことが大切であるとの認識は高まっていますが、敬遠されがちです。その壁を破るパワーをドラえもんに期待しています。」

書写を正課とする学校教育との連携を強めている書文協としては、この学習マンガを十分に活用する方針です。



書文協では硬筆の席書も行っています
(第3回総合大会表彰式で)



切磋琢磨



東京・中野の書文協本部や近くのゼロホール（中野区立年もみじ山文化センター）で、冬の講習・錬成会が行われています。錬成会というのは、大会の課題について、審査ではどこをチェックされるか「審査の観点」を公表するものです。中野、青梅の書写書道専修学院生だけでなく、新潟や山梨、栃木など遠方からのお友達も参加しています。書文協本部の先生方が懇切に教えるほか、半切という大きな紙に挑戦する子どもたちも。どの子の目もキラキラと輝いています。▼切磋琢磨（せつさたくま）という言葉をご存知ですか。中国の古い書物「詩経」に出てくる四文字熟語で、4つの文字とも磨いたり、けずつたり、細かい作業を示すものです。全体として、を同じくする仲間同士が励まし合い、競い合って向上することのたとえとして、今もよく使われます。▼大事なのは、仲間が励まし合い、共に向上することです。競争をするのですが、相手を蹴落とすのではなく、一緒に向上することです。講習・錬成会に参加する子どもたちを見ていると、書に取り組むという共通の志で結ばれていることが伝わってきます▼大会や検定を行っている書文協は審査から免れることはできません。審査と言うのは、作品を評価し、大会では賞の順位をつけることにほかなりません。つまり、教育の真髄である評価ですね。ただ、評価することが他人を蹴落とすことにつかわれるのでは書文協の思いと違います。切磋琢磨こそ、書文協が掲げる学びの心です。



（講習・錬成会 12月23日）→

「なかま」第1回

白根将大（船橋東高3年）

道は、ひとりで行くのではありません。かならず、同行者がいるのです。家族、恩師そして仲間たち。しかし、居そうで見つからないのが仲間です。競い合うだけでなく、何でも話せる友達でいたいと思いませんか。検定や大会で多くの子供たちに書の学びの場を提供している書文協は、教場、地域を超えて子供たちの仲間の輪を広げたい、と願っています。「あそこにこんな子がいるよ」。幼児から大学生まで、電話インタビュー構成でお送りします。トップバッターは高3の書写書道男子です。「書道ほど達成感のある学びはありません。ぜひ書をつづけてね」と彼は呼びかけています。〔編集部〕

文化の日の11月3日。

東京・東日本橋の中央

区立産業会館で開かれ

た第3回総合大会表彰

式で、学生服姿のりり

しい男子高校生の姿が

ありました。千葉県立

船橋東高等学校3年、

白根将大=しらね・

まさひろ=くん（17）。



賞状・賞品を受ける白根君（第3回総合大会表彰式で）

女子の多い会場で、ひととき自立ちます。付添ってきた師の石川貞子先生を
気づかう姿に優しさがにじみ出る好青年です。

——今回は全国硬筆コンクールで大賞、おめでとうございます。書は小学校4
年からと聞いていますが、好きですか？

白根 自分ではよく覚えていないのですが、母によると、習い始めたころか
ら、うまく書けないと泣いてでもやっていたそうです。なんだか、字を書くこ
とがすごく好きなのです。きれいな字が書けたときの達成感というか、それが
たまらないのです。だから、書をやめたいと思ったことはありません。

——中学ぐらいになると男の子は運動部活の方に行ってしまう子が多いので
す。

白根 中学、高校とバレーボールを部活でやってきたのですが、書をやめよ
うと思ったことはありません。

——大学も書でやろうと。

白根 日本史を学びたいと思っています。これも小さいころからですが、歴史
に興味があったのです。古文書を読んだりするので日本史と書道は縁があるか
もしれませんね。将来は書写書道教室を開きたいと思っています。

——書文協が求めた受賞者コメントで「1 1 3枚の宝」のことを書きましたね。

白根 はい。硬筆のお稽古の後、その日の練習で一番上手に書き上げた作品を、
色画用紙に貼り付けた短冊を石川先生がくれたのです。初めての検定課題であ

った「ともだち」から、全ての作品をリングに残してあり、その数は113枚にも及びます。私の書の成長記録であるこの短冊は、先生にご指導戴いた八年間が思い起こされる大切な宝物です

—みんなに、メッセージを

白根 達成感のある書写書道をずっと学び続けましょう。

(おわり)

きのう

今日

あす

書文協副会長 渡邊啓子

「我」

継続は力なり。と一般的によく使われていますが、道を見つけ、始めたら、一つの道を歩き続ける。

「世には、十年一筋の一道を歩む人は少ない。ましてや二十年、三十年、一筋の道を歩き通す人は稀である。恐らく百人中、二～三人しかあるまい。いわんや、五十年一道を歩むに至っては、千人中、二～三人が危うかろう。

しかしそれには、さし当り十年一道をあゆむ。さすれば一応の土台はできる。九十九人が川の向こう岸で騒いでいても、自分一人は、志した道を歩くだけの覚悟がなくてはならぬ。」『森信三訓言集』

自分のまわりで同じようなことを話していましたが、実際このような言葉を目にすると実感します。

書写書道に携わっている方々は、「稀」のかたまりのよう・・・ 周りにこんなに大勢いらして、これって凄いことですよ。

やはり大切なことは、「自分が自分らしくあること」だと思っています。その為にはどのような環境をつくるのか、どのような道を選択していくのか・・・ 我が道を見失わずに、歩んでいきたいですし、そのような人が育つような取り組みをしていきたいと思えます。

吉見出版

「書文協ブランド」売り出す

新春から

書写書道用具、テキストの販売提携を進めている吉見出版株式会社（愛知県豊橋市）は、その第1弾として筆、こふでならしを27年早春から販売します。同社は、表彰用品や記念品などの大量仕入れ、廉価販売で知られる大手です。同社では「書文協ブランド書写・書道用品」と名付けて売り出すもので、書文協としては、レベルの高さと万人のためにという公共性を認めていただいたものと受け取り、書写書道の普及に追い風となることを期待しています。

吉見出版が目下準備中の宣伝チラシから引用させていただきます。

「書写書道指導者としての第一人者、大平恵理先生（書文協会長）のご指導のもと、新しく完成した（書文協ブランド）の筆、こふでならし。

生徒さんの書道具としてお勧めします。是非、一度お試しください」

キャッチコピーとはいえ、過分な表現に恐縮しますが、ブランドの中心、書文協文字についての説明は、私どもの考える通りです。

「書写の基本を徹底した書家だけが持つ平明な美しさに満ちた文字として多くの愛好者がいます」

書写の実用と書道の審美を合わせもつ「用美一体」が書文協文字の真髓と自負しています。

特価をさらに割り引く「書文協会員価格」を設定

販売される筆は中筆3号（恵風）、細筆（啓明）、細筆（寒梅）、細筆（啓行）、中筆3号（恵音）の既定5銘柄と新しい銘柄の中筆5号特品（文思）の6種。既定銘柄については、いずれも書文協が教場に卸している価格を下回ります。

こふでならし=写真は、墨漏れがしにくく、ふたの開け閉めがしやすい構造で、実用新案特許を持つ優れものです。

定価360円を特価250円で販売（消費税別）されます。

さらに筆と同じく書文協会員価格が設定されます。



教

学

半

書文協教学参与 池田 圭子

教学相長（あいちょうず）、あるいは教学相半（あいなかばする）、と言われます。教えることは学ぶことに通じる、という意味です。人にものを教えるとき、自分が良く分かっていないとうまく教えられません。また、教えていると、自分がどこを知らないか、理解していないか、よく分かってきます。つまり、教えることは学ぶこと、なのです。

池田参与は大平会長と同年齢の同期。旧・日本書写能力検定委員会で机を並べました。今、共に書文協を支えます。教学全般で会長を補佐するほか、通信教育部門を担当、中野教室でも主に成人生徒のクラスを担当しています。通信生から文部科学大臣賞獲得者を輩出、教え方の上手さに定評があります。

（編集部）

目標を決めて一歩ずつ上達へ

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。「一年の計は元旦にあり」といいますね。皆さん今年の目標を決めたでしょうか。

書写書道をやっている方たちは、漠然と「字がうまくなりたい」ではなかなか目標の達成は難しいかと思えます。

毎月の検定課題を、ただ書く、お手本と同じように書く。先生に注意されたところに気を付けて書く。それだけではなく、自分できちんと目標を決めて書いてほしいのです。それは硬筆で言えば、例えば月ごとにまず一筆で書くことのできる『つ、く、し、』を今月は完璧にしようと思ったら、それだけは繰り返し練習して納得のいく文字にする。次に『こ、い、と』など、無理をせずにやさしいところから自分なりの小さな目標を持って文字をかくことに臨んでいきます。そうすると、一年たったころ、自信をもってかける字がいくつかできてくるでしょう。

このようにして、まずは小さな目標を立ててクリアしていくことで、自然と大きな目標である「文字の上達」に一歩ずつ近づいていくことでしょう。

今年が皆さん一人一人にとって実り多き年となりますように。

幼児えんぴつ文字教材の決定版！ 新年から発売

新・硬筆検定用テキスト（B5判144頁、本体600円 消費税込み648円）

幼児編上「はじめてのえんぴつれんしゅうちょう」

幼児編下「えんぴつひらがなれんしゅうちょう」



幼児の興味・関心に応えるつくり

幼児期の文字教育に関心が集まっています。しかし、鉛筆などで書く硬筆の教材はあまりないのが実態です。新・硬筆検定テキスト幼児編上・下の2編は、幼稚園、保育園児の教材として使うのに最適です。検定と関係なくお使いいただいても、教材として優れた作りになっています。

書く姿勢から始まって、えんぴつの持ち方を徹底的に学びます。字を書く前に、ぐるぐる渦をまいたり、横線、縦線を引いたり練習があります。文字も、出来る限り具体的に、物や行いなどと連動するように言葉を選び、イラストレーターが楽しく分かりやすい絵を描いて幼児に見せます。

課題の文字は、いずれも書文協会長・大平恵理の手書きです。体験と遊びの中で文字への興味・関心を育てる幼児期にも、美しい、本物の文字を見せて文字感覚を養いたい、と書文協は考えています。

検定にも参加できます

検定の見直しに取り組んでいる書文協は、現在2コースに分かれている硬筆楷書、硬筆行書のコースを一本化した硬筆書写書道検定（新・硬筆検定）を創設しました。一連の学びの中で、中学生段階から行書が入り、最終的には草書にも触れるのが特色です

硬筆は、えんぴつやペンなど筆以外の筆記具で文字を書くことを指すもので、書写書道の日常化・実用化推進に直接つながるものです。しかし「お習字」という言葉が毛筆を指す歴史の中で、硬筆の学びはおろそかにされてきたと言わざるを得ません。しかし、日本の伝統文化を継承する日本語を守り、発展させるためにも硬筆は大事です。もちろん、きれいなノートをとって学力をアップさせるためにも、個性あるお手紙を書いたり、整ったビジネス文書を書くにも硬筆の力が求められます。

じっくりと練習効果が出る現行の検定は残しながら、誰でも濃縮した学びで書写書道の基本を早く身につけることができる新・硬筆検定をスタートさせるものです。

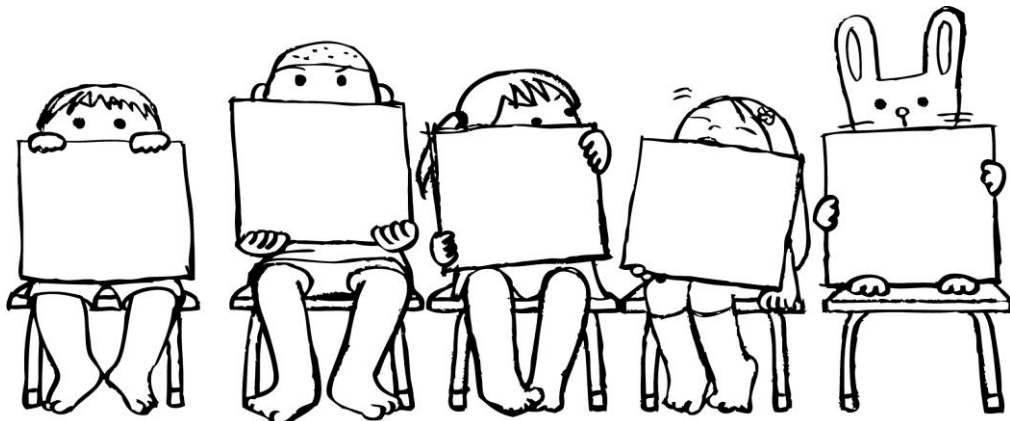
段級が取れます

(幼児編上) 10級 (幼児編下) 7級

新・硬筆検定は本シリーズ（小学生以上）120課題ですが、その前に保育所・幼稚園の幼児向けコースを設けました。文字に親しみ、字形をつかみ、文字感覚を身につけるのは幼児期が最適です。

検定と連動している段級の付与は、幼児検定でも同じです。検定成績により(上)では最初の10級、(下)では最高7級が付与されます。

購入申し込み表は末尾ページにあります。納品はご注文いただいてから1ヶ月後になります。詳細は、書文協本部（03-63048212）までお問い合わせください。



文

鎮

書文協指導主任 佐藤貴子

～保護者と一緒に考えたいコラム～

重すぎず、軽すぎず。文鎮（んちん）は、目立たず重要な書道具です。紙と墨の世界、書写書道は、それらの道具で単にきれいな文字を目ざすだけが目的ではありません、きちんと道具を整理整頓し、姿勢、呼吸を整えて文字を書く、その所作を通じて人格形成をはかるものであります。それが、良き日常生活習慣や継続する力を生むものと信じます。生徒さんの多くはまだ幼く、若く、お母様ら保護者とともに書の道を進まれている、と言えます。このコラムが親子の会話のきっかけの一つになれば幸いです。筆者は、子どもたちに人気の書文協指導主任、佐藤貴子です。

今回のテーマは「書き初め」。書文協中野本部教室では、1月3日、書き初めが行なわれます。体験も受け付けます。（編集部）

書き初め

学校や地域で書き初めがありますが、どんな由来なのでしょう？皆さんは知っていますか？

これは、年が明けて初めて毛筆で書や絵を書く行事で、通常は1月2日に行います。古来は旧暦1月2日に行われていました。

書き初めは、「吉書（きっしょ）」「試筆（しひつ）」「初硯（はつすずり）」などとも呼ばれています。

書き初めは、元日の朝に汲む水（若水）で墨を摺って、恵方に向かって詩歌を書く習慣がありました。平成27年の恵方は「西南西」です。

元々は宮中で行われた儀式でしたが、江戸時代以降庶民にも広まりました。

書き初めで書いたものは左義長で燃やして、その炎が高く上がると字が上達すると言われていました。

日本には、とてもすばらしい伝統文化がたくさんあります。ぜひ新しい年の、新たな決意で書き初めを行ってみましょう。

えんぴつ指導者ライセンス 講習会 27年早春コース

ひらがなは、中国渡来の漢字を基に日本で生まれた文字で、日本語の6割以上を占めています。きれいな日本語を書くには、まずひらがなから、日本の伝統文化はひらがなの理解から始まります。えんぴつでひらがなを書くこのライセンスは、ひらがな46文字を教える力があることを書文協が認めるもので、6時間の講習を受け、最後の終了試験の成績によってライセンス（5段階）が付与されます。お問い合わせは、書文協事務局まで。

<日程>

2月 1日	名古屋	名古屋西生涯学習センター
2月15日	宇都宮	宇都宮市中央生涯学習センター
2月22日	仙台	仙台市青少年文化センター
3月 1日	新潟	新潟市東区プラザ

(いずれも日曜日、午前9時半ごろ、開講です)

受講料10、800円(消費税込み) + 教材費(約2、000円)

幼稚園・保育所文字指導研修(幼・保研修)制度

ライセンス取得後、特に幼稚園・保育所の文字指導者から、その後の学びのあり方に質問が多くあります。このため書文協では、幼稚園教育要領にのっとった標記制度を始めることになりました。ご活用ください。

<ライセンス保持者に対し>

通信教育に「えんぴつ指導者ライセンス保持者コース」を設け、廉価で次のライセンス階級に向けての学びを続けることが出来るようにします。月謝は、通信経費を入れて2500円。基本として月1回、6回コースとし、6回目の卒業通信試験の成績によって次階級への昇進を認めます。

<在籍園に対し>

研修は、ウイークデーの10:00-18:00の間に計5時間実施します。研修内容は事前に園と書文協で打ち合わせ。講師は大平恵理書文協会長をメインとしますが、書文協講師一人当たり受講者は7人以内とします。幼児クラスの指導、参観はこの限りとしません。経費は5万円(資料代別)+交通費。講師一人増すごとに3万円+交通費。仙台以東、名古屋以西の場合、+7000円です。

東西南北

(編集部) 東西南北が復活します。皆様の原稿をお寄せください。指導のこと、子どものこと、学校のこと、日常の些事、テーマは自由です。

私のひとりごと



群馬県桐生市 大澤 元代

1 1月のある日、“今年も後1枚となってしまいました”というお手紙を頂いたことを今ふと思い出しました。そうですカレンダーの枚数のことでした。1月の時はまだ1年が始まったばかりと思っていたのに、「もう終わってしまう」、「やっと終わる」、一人一人思いは様々と思いますが、一年の区切りは等しく同じです。

私はどちらかというと、毎日が忙しく日々時間に追われています。それが有意義であるかは、解りませんが二者をたして二で割るそんな気がしています。

さて、前置きはこの位にして、私は常々子供達にかかわることの大切さを感じている所であります。

今の子供たちは、とても感情豊かですので、いかに上手にかかわっていかねければならないかと思案しています。

今までは「先生良く書けなかったけど!」と持ってくる子供達が殆どでしたので、「良くかけなかった作品は持ってこないで」、と指導をしていましたが、最近発想を変え、良いところをほめると共に、「ここを直すとううかな?」と子供に考えさせることに変えました。「字の中心はね、体の中心にあるおへそと同じなんだよ」と。又、書写辞典で調べさせ書き順などを覚えてもらう、ある時は作品を壁にかけて離れて見る等すると、子供達は自分の作品の欠点に気づき、たちまち書き直して勝ち誇ったような顔で持ってきます。これが「自らが進んで取り組むこと」につながり、すなわち生きる力を育てることかなと思っています。

先日こんなハプニングがありました。4歳の子供が、私がいつも教室で「お手本をよく見て書くんだよ」というのを聞いているせいか、私が何も指示しないうちに、半紙検定のお手本を1から順番に書いているではありませんか。当然漢字も見よう見まねですが何と、形になっているのに驚きました。これからの未来のある子にかけてあげる言葉に、戸惑いながらも「すごいね」と微笑みながら抱っこしてあげました。すると得意げに「僕すごいでしょ?」と言った時の

あの満面の笑みは忘れられない出来事でした。

又6年ぐらい前から桐生市のいくつかの公民館から、冬休みに書初め指導の依頼があり、今年は4か所からもお話がありました。断ることもできないまま出向くことになり、自身の教室の授業もぎりぎりまで、ずっと続けていた恒例の武道館を来年はお休みにすることに決め、今回は地域の子供たちの育成に時間を使って今年を締めくくろうと思います。

結びに私達指導者は常に新鮮であること、日々成長しなくてはいけないことを痛切に感じつつ子供達から若さとパワーをもらいながらこれからも頑張っていこうと思っています。

席書大会のススメ

愛媛県 大六良子



私が自宅で習字教室を始めたのは、主婦仲間の方から子供に教えて貰いたいと頼まれた事に端を発します。数年後、公民館等に場所を替え生徒さんを小学生に限って習字教室を続けて来ました。一年生には硬筆練習で字の基本線と形を教え、二年生から六年生には毛筆練習です。週一回教室に通ってくる生徒達には、小学校での課題提出以外にも作品発表の場を作る事で、毎週練習の原動力になると私は考えています。それで書文協が元団体の時から続けられている書道展に毎年参加させて頂いています。長年公募での参加でしたが、昨年からは席書大会に参加形態を変えてみました。席書大会を実施していると、私が思った以上に生徒達が成長する姿を見せてくれています。二つの教室の生徒達が一同に会し、手本無し、私の助言無しで二枚の清書用紙と所定時間ギリギリまで向き合います。張りつめた雰囲気の中で一心に作品を仕上げる生徒達の姿は、会場の後方で見守る保護者の方々を感動させる程です。席書時間が終わり、生徒が自分で一枚の作品を選び低学年から順に自分の作品を持って発表する時間をとっています。私は席書大会を通して生徒達が普段の練習にはない緊張感と達成感を感じていると思っています。私は生徒達が筆で字を書く事に自信を持ち、書く楽しさを見出して貰いたいと願って、習字教室と席書大会参加を続けていこうと思っています。

第3回伝統文化大会「学生書き初め展覧会」

- ◎権威ある審査委員がそろそろ全国大会で腕試しをしてみよう
- ◎全学年とも課題、手本があります。
- ◎えんぴつ・ペンで書き初めも
- ◎文言、用紙自由な自由課題の部もあります

応募締め切り 平成27年1月17日〔土曜日〕 **まだ間に合います！！**

団体出品料 表は、団体出品料(5点以上まとめて出品された場合)のものです。
さらに、団体で1次審査〔団体審査〕をした場合は10%割引されます。審査結果、賞状・賞品は団体責任者に一括送付されます。
出品数は、伝統文化大会のもう1つのコンクール「全国年賀はがきコンクール」の出品数と合計できます。

硬筆の部	幼・小・中	432円
	高・大	648円
毛筆の部	幼・小・中	540円
	高・大・一般	907円

* 個人出品は一律1296円です。

第1回漢詩「楓橋夜泊」臨書展

- 主催** 一般社団法人日本書字文化協会
後援 青梅市(東京)日本中国友好協会、中国書法学院
蘇州・寒山寺
中国国立南京芸術学院、蘇州呉昌碩研究会
- 応募締め切り** 平成27年3月30日
- 応募資格** 全部門とも年齢不問 毛筆のみ
- 部門** **臨書の部** 用紙は半切ないし八つ切り
- ・全文 漢詩全文
 - ・部分 起承転結4句のうち1句
- 楷書筆写の部** 用紙は半紙ないし八つ切り
- ・1字 次のうち、どれか1文字
月 満 天 漁 火 城 外
 - ・2字 漁火
 - ・3字 寒山寺

幼児えんぴつ文字練習帳購入申し込み書

団体番号 _____

団体名 _____

団体責任者 _____

電話番号 _____

(携帯) _____

住所 〒 _____

支払方法 現金払い (中野事務局にて商品受取時)

(○をつけて下さい)

郵便振替

その他

商品受取方法 _____ 月 _____ 日 () までに送付

_____ 月 _____ 日 () 持ち帰り

幼児編上「はじめてのえんぴつれんしゅうちょう」

_____ 冊 × 648円 _____ 円

幼児編下「えんぴつひらがなれんしゅうちょう」

_____ 冊 × 648円 _____ 円

_____ 合計 _____ 冊 _____ 円

注文受付者	出庫者	発送日	納品書番号	送料	円
備考				送付日	月 日